



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第322号

2017年6月19日

発行

日本共産党
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田
312-5

大型開発頼りの街づくりは逆戻り

服部新市長の所信表明が6月議会の初日に行われました。所信では、京成線の高架化、京成駅周辺の再開発、都市計画道路整備など、大型開発推進を強調する一方、くらしや福祉の分野では、子育て支援施策を「喫緊の課題」としましたが、福祉という言葉は僅か「高齢者福祉施策」という1か所、医療、介護は言葉さえなく後景に置かれました。

京成線の高架化や駅前再開発など大型開発は、ばく大な税金が投資され市の財政を圧迫します。新川周辺開発事業による借金財政で、市民へ14億円の負担押し付け、国保料の大幅値上げ、保育園不足、教室エアコン設置が放置されました。大型開発推進ではハコモノ推進の豊田元市政に逆戻りです。



無責任な税収増と財政悪化の恐れ

事業を進める財政問題として、東葉高速鉄道の運賃値下げ、京成線の高架化、京成線駅周辺の再開発によって人口流入を促進し、不動産の資産価値を上げ、市民税などの市税増収で財政を健全化、市民サービス向上につながると述べました。

しかし、高架化も運賃値下げも何十年先に実現するかどうかはわからない話です。見通しさえたっていない施策を財源のあてにするのは余りにも無責任です。八千代市財政は573億円もの借金があります。開発資金はどこから捻出するのでしょうか。服部氏は市の財政について「財政は危機的な状況にない」（「自民党市長選選定公開討論会」の発言 2016.10.23）という考え方を示していますが、これでは財政の悪化が危ぶまれます。

メトロと統合の説明責任果たせ

「東葉高速鉄道の運賃値下げを解決できるのは私しかいない」と述べました。選挙でも「東葉勝田台から大手町まで310円?!」と宣伝しました。運賃値下げは歓迎するところです。しかし、カギとなる東京メトロと東葉高速の経営統合は実現可能でしょうか。東葉高速には建設時の長期債務が2722億円（2015年度決算）あり、44年後の2061年（平成73年）まで返済し続ける計画となっています。東京メトロの会長は「合併することはありません」と明言しています。東葉高速の大株主千葉県も八千代市も「統合は困難」という見解を示しています。「解決できるのは私しかいない」と断言する市長には、統合の道筋、時期などを市民に説明する責任があります。